

## 序 言

喜多川周之コレクションは、喜多川周之氏が収集した、凌雲閣（浅草十二階）をはじめ近代の浅草や下町に関する資料群である。当館は、喜多川周之氏の集めた資料、約35,000点を収集し、展示などで活用している。

2010年（平成22）3月には、『喜多川周之コレクション』（東京都江戸東京博物館調査報告書 第22集）を刊行し、喜多川周之コレクションの概要を紹介した。

そして、その年の12月4日（土）、多くの方々にも喜多川周之コレクションの特色を知っていただくため、「研究フォーラム 浅草十二階に魅せられた男 ～喜多川周之コレクションの魅力～」を開催した。喜多川周之コレクションについて、また、喜多川周之氏自身について、様々な視点から一般の方々にその魅力を紹介した。

また、当館の都市歴史研究室は、大阪歴史博物館との共同研究を行っており、東京と大阪に関するテーマで、研究会を毎年開催している。2011年（平成23）3月22日（火）には、大阪歴史博物館において東京と大阪における近代の「塔」というテーマで研究会を行い、東京の凌雲閣、大阪の展望所を持つ施設について発表し、両都市における「塔」の比較研究を行った。

『喜多川周之コレクション』の出版を契機に、このように、凌雲閣についての研究フォーラムや共同研究会を行ったことから、それらの成果も、本報告書に収録することとした。

本調査報告書により、喜多川周之コレクションの研究および活用がなお一層進展することを望むものである。

最後に、本書の刊行にあたり、多大なご協力をいただいた、佐藤健二氏、小木曾淑子氏、細馬宏通氏、また、船越幹央氏をはじめ、大阪歴史博物館の方々に感謝の意を表する。

2012年（平成24）3月

東京都江戸東京博物館 都市歴史研究室